

# 台湾横浜輪胎股份有限公司 CSRレポート

**事業内容:** 自動車用タイヤの販売  
**敷地面積:** 307m<sup>2</sup>  
**従業員数:** 17人(2010年6月末現在)  
**所在地:** Suite 601 6th Floor No.88, Sec 2, Chung Hsiao E.rd, Taipei, Taiwan R.O.C  
**TEL:** +886-2-2356-8528



## 社長ご挨拶



橋本 久雄

従来、政府レベルで提唱されていた「環境保護の大切さ」も、最近では、全国民に浸透しつつあり、各団体、各企業の環境保護活動が活発になってきています。当社も、環境保護の一環として昨年からすすめてきました、台湾大学と共同の「育苗活動」を本年も継続致します。現在では、「香楓」も順調に育ち、来年には植樹ができ、温暖化防止、自然環境保護に貢献できるものと思います。また、昨年末には、他社に先駆け環境商品である「Earth-1」

の上市を行い、多くのお客さまから好評をいただいています。今後も、横浜ゴム(株)環境「GD100」の指針に沿って、環境保護活動の推進と、お客さまに対し、環境商品をタイムリーに提供し地域に根ざした企業となるよう努力していきたくと思っています。

## 環境への取り組み

### 2010年度環境方針

#### 台湾横浜タイヤ環境方針

弊社は「良心と専門技術」を企業経営の精神とし、国際基準、更にはそれをもっとすすめた基準に沿って、環境に優しいタイヤを提供致します。法令順守と人間性溢れる環境づくりをし、又、継続的な改善活動により、環境汚染、財産損失を軽減する為、最善を尽くす事を宣言致します。その為に私たちは、以下の三点を実施致します。

- (1) 社内のコミュニケーションを通じ、環境に関連する法令の点検と常に最新のものの把握と社内展開を行う。
  - (2) エネルギー、産業廃棄物の削減を図り、環境汚染予防に努力する。
  - (3) 環境改善をすすめる為、管理者によるチェック機能を社内に確立する。
- 以上の方針については、必要時、一般に情報開示します。

#### 2010年度取り組みテーマ

- (1) 社内の環境活動に加え、台湾横浜ファミリー(経銷商)の環境活動を支援する。
  - ・育苗活動(定期的に現地視察)の継続と全員参加の環境保護活動計画作成と推進
  - ・環境保護の重要性和具体的な活動に関する、経銷商への教宣活動
  - ・環境会議(1回/月)における実行計画フォロー
- (2) 環境商品(Earth-1)の拡販と雑誌広告、同時にホームページに環境に取り組む横浜を掲載する。
- (3) さらなる省エネ、資源の節約を図る。
  - ・昼休みの消灯、ペーパーレス化
  - ・一斉定時退社日の拡大(毎週、月、金曜日)
  - ・ノーカーデイの拡大(毎月2回)

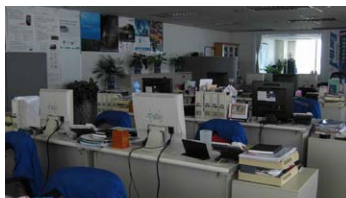
### 省エネ活動の強化

2009年から5月1日～10月31日の期間のクールビズ導入、昼休みの完全消灯を実施しました。また月1回、通勤に電車、バスなどの公共交通機関を利用する「ノーカーデイ」を実施しているほか、一斉定時退社日

を設け省エネ活動を実施しました。本月1月より、これをさらに拡大し、「ノーカーデイ」を月2回、一斉定時退社を週2回にしています。



点灯時



消灯時



一斉定時退社の様子

## 地域とのコミュニケーション

### 地域との交流活動

2009年9月に台北北部景勝地の万里海岸の清掃を全員参加にて行いました。また、弊社のホームページをタイムリーにリニューアルし、横浜ゴムの環境保護活動の紹介と環境商品の紹介を行いました。



万里海岸清掃の様子